

9月になりました。

前回の7月「ながら族の話題」は文明の進化によって音楽を外に出す事ができた

(活動的になった)・・・それは単純に「いつでも・どこでも・好きなことを好きなようにしたい」と言う人間の素直な欲求であり、文明の進化はその欲求応え、新たな生活様式や価値観を育み「文明」が

変わり「時代」がかわった。しかしそれはしごく当たり前の進化だとも思うけれど

新たに新しい事を遂行する時には様々な人の立場や意見価値観に思い至りながら

進めていくことが必要かな?と思うという感じでした。よね?誰に言ってるねん???



9月は「新旧ながら族の違い」を考えてみたいと思います。

旧ながら族は最新ウォークマン型でもほぼ自分一人の行為でした。深夜ラジオ派は、多くのリスナー(他人)と繋がっているようですが、各個人は、それぞれ、自分とパーソナリティ(ラジオ番組進行役主にタレント)とのマンツーマンだと思っていました。他にも他人がいると実感するのは、リスナーによる失敗談や体験談、リクエスト曲の葉書が読まれた時に「こいつ俺と一緒に」と思った時くらいでしょう。

旧ながら族はイヤホンで遮断し「現実へ背を向け私孤独好きなの的狀態で個の存在確認」をしていたのですが、現在のながら族は一見同じ行為に見えるものの、実際は距離や時差なども超え、

広く、さらには、いくつもある世界の中で「自分の存在確認」をしている様です。その状態は、現在の時空にいくつもの世界が同時に存在するという「夢のパラレルワールド」状態の中でとても多くの人と関係を保ちつつ音楽を聞いたり、話したり、しています。その一つ一つの世界に現実の24時間内で自分の存在価値を示さねばならないとなるとなるとでもしないと到底足りないのだと思います。

「昔はこうだった!昔はよかった!」という言葉聞く事が多い私の環境ですが、過去を顧みる事は必要だと思います。が、現在を否定するばかりでは変化や進化を一方的に否定する事にもなりかねません。過去があり現在があり、現在があるから未来がある。

その中で、今、同時代同次元に互いに存在しているという「奇跡」を互いに認識するだけでも共通点になるのではと思います。

新ながら族の皆さん

貴方のワールドはいくつありますか?いっぱいある事はとても大切。人としての引き出しが増えるし、

これからの可能性が高まります。でもその全てに対応する事が大変になったら、一度整理して

身軽になってみませんか?少しはっきり自の形が見えるかもしれませんよ。

旧ながら族のみなさん並びにそんな旧ながら族をこの頃の若い者とは顔をしかめた皆さん
貴方のワールドはいくつありますか?すでに消滅又は消えかけているワールドで一人ポツ

ンと立っていたりしませんか？もしそうなら過去を少し脇において、新たな気持ちで世界にでていきませんか？

もっといっぱい世界はあります。まだまだ貴方の世界はひろがります。

そんな、違いを認めつつもどこかで交われたら、それが世代を超えた理解と交流？？？

・・・ 9月 敬老月間のはじまりです。

(ラインやツイッターは書くと言うのか？話すというのか？誰かおしえて？検索しないで待ってまーす)